

## 未来へつなぐ しが文化活動応援事業

事業番号 0820-0016

事業名 フクモト声楽・ピアノ教室 音楽会

代表者 福本 由美

1997年より「おんがくかい」と銘打って、教室の発表会を兼ねた小さなコンサートを開催しております。教室の生徒さんの発表・研鑽の場としてスタートしたこの会はいつしかご家族ご友人、卒業生、そこから広がったご縁ある多くの方々、年一回集まって様々な形で「音楽」を楽しみ追究できる場となりました。毎年足を運んでご意見ご感想を下さる多くのお客様にも支えられ、20余年地道に続けて来ることができました。

しかしこのコロナ禍、今年ばかりは開催の断念も考えました。ですが、多くの行事が中止になって元気や張り合いを無くした子供達・閉塞感の漂う大人の皆さんを見て「今だからこそ出来ることを考えよう。最大限に注意しながら楽しむことを工夫してみよう」と一念発起致しました。無事やり終えた今、県民の皆さんにその事業をご紹介させて頂きたいと思っております。

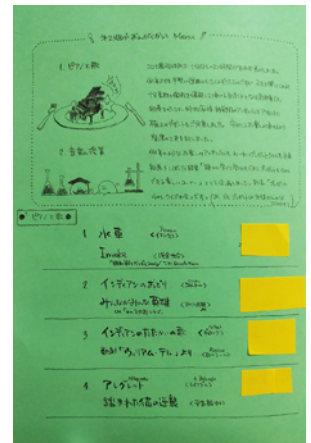
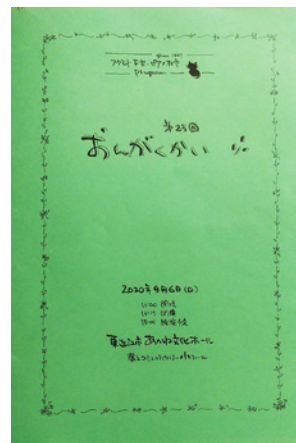
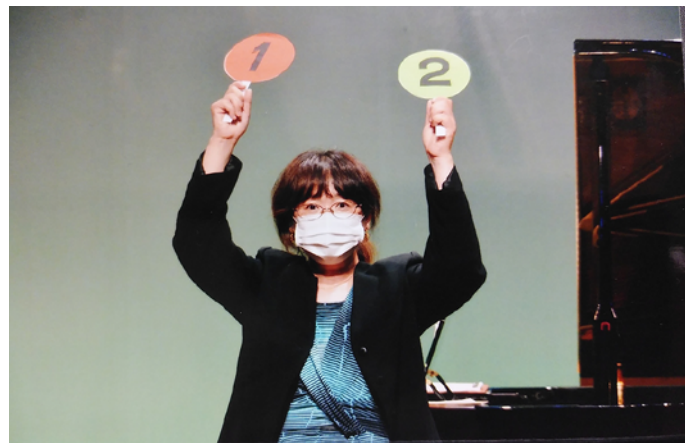
## 例年の音楽会 (おんがくかい)

- ① 独奏・独唱・連弾
- ② 合奏・アンサンブル
- ③ 上級者・プロによる演奏
- ④ 合唱

## 今年の音楽会 (第23回おんがくかい)

- ① 基本的に独奏とする。  
連弾は主として家族間に限定する。独唱による飛沫拡散を考え客席前3列を空席とする。
  - ② 合奏・アンサンブルは中止とする。  
代わりに「音楽の授業 (音楽に関するクイズ大会)」を企画。
  - ③ 長時間閉鎖空間を作らない・密を避ける観点から、子供 (生徒) の部と大人 (上級者・プロ) の部を分け観客を入れ換えて会を実施。(プロの方には「音楽の授業」にて子供達に演奏を披露して頂きました)
  - ④ 飛沫感染防止のため合唱を中止。  
代替りの企画として「レコーディング (リモート) 合唱によるCD制作」を行う。  
CDは音楽会を聞きに来ていただけない方を中心に広く配布。
- ★ 例年どなたでも来ていただける会であるが、今回は座席券を配布、関係者のみ指定席制とさせて頂いた。(間隔を空けて着席)
  - ★ 動線を指定してソーシャルディスタンスを保てるように工夫した。
  - ★ アルコール消毒液を設置。生徒さんの手指消毒は担当者を置いた。
  - ★ マスク着用の徹底

# 音楽会（おんがくかい）の様子



## レコーディング合唱によるCD制作

- 教室内にレコーディング機材を設置（2週間）
- 教室では少人数（1～3名・家族単位）での入室。  
使用音響機材は、こまめに消毒、十分に換気を行うなど、感染症予防対策を行い、レコーディングを実施した。また、教室の入室人数を制限する為に、録音は教室で担当。録音エンジニアからリモートで指示をうけて、レコーディングにのぞんだ。
- レコーディングは、少人数の単位で行うことにしたので、録音する期間を長く設定。  
その結果、多くの方に参加していただくことが出来た。

### — 参加者の声 —

- ★ ヘッドフォンをしてマイクの前に立ち、本格的なレコーディング体験が出来ました。
- ★ 複数パートのレコーディングにチャレンジすることが可能だったので1人で2つのパートを歌いました。  
通常の合唱ではできない体験ができました。
- ★ 一緒に“音楽”できることの有難さを共有できました。また、CDを通して、多くの方に歌声を届けることができました。

参加者ひとりひとりがヘッドフォンでピアノ伴奏を聞きながらマイクに向かって歌いました。

その歌声を集めCDという媒体を通して一作品に仕上げる。正直な所その試みに「皆で集まって歌う」以上の感動を期待していたわけではありませんでした。しかし「マイクに向かって一人で歌う」という緊張下で一人一人の感覚が研ぎ澄まされた結果生まれた作品には今まで感じたことのない感動があり、それは新鮮な驚きでもありました。

「離れていても声や思いで集まる事が出来る」そう確信を持たれたことが大きな収穫でした。

CDジャケットイメージ



ジャケットにレコーディングの記録写真を掲載しました。

## Recording 合唱 Project いのちの歌 ♪. った音楽・ピアノ教室

2020年夏。

今この国内で繰り返りひろげられているオリンピックの熱戦を見んとして連日テレビにかじりつきつつ、夏の終わりに開催する年に一度の発表会である「第23回おんがくかい」に向けて企画にレッスンに忙殺されているはずだった夏。

2019年末にネットニュースでちらっと目にした「未知のウィルス」という現実感のない言葉が、大切な人々の命、負けるまいと踏ん張る人々の時間や空間、心の元気…ここまで無惨に多くのものを奪いに来るとは想像もしていませんでした。

そんな今だからこそ出来ることはないだろうか…色んな行事がどんどん中止になっていく中、逆に今しか出来ない面白いことはないだろうか…次の発表会では「いのちの歌」を歌いたい!と言ってくれていた生徒さんがいたけれど…。

そこで思いついた『本格的なレコーディング体験をしながらみんなで歌うプロジェクト』。

生徒さんの希望を思わぬ形で叶えることも出来ました。

実現するに当たって、快く相談に乗って下さった上に貴重な機材を2週間も貸して下さったスタジオアントラップ・エンジニアの有川雅人さん、「何か」を形にするべく見えるように手助けして素敵なデザインを導き出して下さったスタジオアントラップ・

デザイナーの有川リスさん、学業研究多忙の中で合唱団での経験を生かして素晴らしい編曲をして下さった松村さん、

プロ専用機材を操って懸命に皆のレコーディングを担当して下さいました弦さん、そしてこのプロジェクトに賛同して下さいました、

ヘッドフォンをしてマイクを前に精一杯の集中を見せて下さった皆さん。

…子どもたちのためにという思いから頑張ったつもりでしたが、出来上がった音を聞いて思いがけず救われたのは

私自身でした。あまりに尊い。「見えないものへの有難さ・当たり前だと思っていたことの有難み」を実感した2020年夏となりました。

いのちの歌、聞いてください。

2020年8月 福本 由美



期間 2020年8月3日～8月17日  
場所 福本家レッスン室

